

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



東海道五十三次

石部 いしべ

石部は京都から江戸へ向かう旅人が最初に泊まった宿場である。見どころは天然記念物のウツクシマン。石部の正倉院は江戸時代の道中茶の村中散本鋪。二百年前のソウの化石など。歴史・文化・自然・地質と幅広い。また、地味である。切妻屋根の民家が相違なく、旧街道の面影をそのままとどめ、その辺は近江茶の産地で、古風なたたずまいの茶の店が多い。



ウツクシマンの群生。水口から石部へ向かう途中でせひ見ておきたいのが平松のウツクシマンである。松は普通、木の太い幹から枝が出るが、ウツクシマンには主幹というものがなく、根元からいくつも枝が分かれしている。このため、幹が傘ホウキのような形をしており、マンには見えません。この珍しい樹木は美松山の南東斜面に二百数十本ほど群生しており、天然記念物。地質の剝きで、このような変種は見た。



石部宿場の里。了り石部駅の南にある雨山文化運動公園内。江戸時代の旅籠、農家、高家や茶店を再現している。敷地内には東海道歴史民俗資料館もあり、石部宿の模範などが展示されている。石部正倉院と真ん中の常楽寺、長寿寺がある。ともに良弁の開基といわれ、西寺、東寺と呼ばれ、常楽寺は圓堂の本堂、三尊塔、長寿寺には圓堂の本堂があり、鎌倉室町期の古いものである。